

長寿時代の世代間関係

お茶の水女子大学名誉教授 藤崎宏子

「人生 90 年時代」といわれる現在、個人のライフコースはかつてとくらべ大きく様変わりをした。比喩的にいえば、誰しもが長距離ランナーとしての見通しとペース配分を意識しなければならない時代である。併せて、その道々で、ライフスタイルや人間関係についても、いくどもの脱構築が必要となった。

本講演では、現代日本における親子関係とその連鎖を中核とする世代間関係をテーマとする。長寿化は、一方では四世代・五世代といった多世代の関係性を出現させる。しかしもう一方で、晩婚化・未婚化の顕著な進行は、「8050 問題」に代表される高齢親子の社会的孤立をもたらす一因ともなっている。これらの事例も含め、世代間関係における援助の授受や自立―依存の現代的諸相を確認する。さらに、多様な世代間関係を取り巻く地域社会や支援制度の在り方も含め、今後の課題について考えたい。